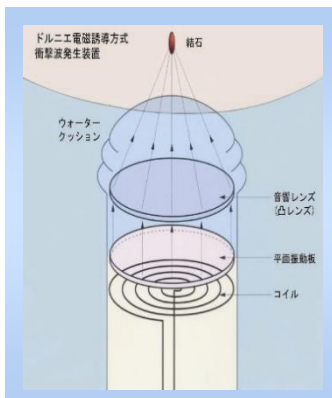


膵石治療のご案内



慢性膵炎などにおける膵石に対しては以前より内視鏡的な膵石除去術や膵管ステントの留置などが広く行われています。2014年4月に膵石に対する体外衝撃波結石破碎術（ESWL）が保険適用となり、膵石治療に広く臨床応用されるようになりました。当院で2017年11月に更新したESWL機器は、電磁誘導方式衝撃波発生装置を採用しており、高い碎石効果が得られるようになっています。ESWLにより膵石が消失あるいは縮小すると、痛みの緩和効果だけではなく膵外分泌機能が改善するとの報告もみられ、生活面でもQOL向上に寄与すると考えられています。膵石の状態などではESWLが適応とならないこともあります。当院では内視鏡的膵石除去術や膵管ステント留置術を含めて膵石治療をおこなっておりますので、膵石治療を希望される際は消化器内科にご相談ください。



電磁誘導方式衝撃波発生装置による治療のイメージ

Topics

～6月から9月までの主な出来事を振り返ります～

6.16 市民公開講座開催

第29回浜松医療センター市民公開講座「よくわかる！心臓・血管の病気」を開催しました。当日は、380名の方に参加いただきました。



6月

7.5 小児病棟七夕

小児病棟に入院しているお子さんを対象に、七夕イベントを開催しました。病棟保育士から七夕の話聞いた後、七夕飾りを作り、笹に飾りました。



7月

8.7-9 看護学生インターンシップ

35名の看護学生が、夏休みを利用して、当院のインターンシップ看護体験に参加しました。



8月

9.14 絵画の贈呈

浜松市在住の油彩画家 小楠和子さんから、絵画を贈呈いただきました。小児科外来に展示していますので、是非ご覧ください。



9月

ふれあい



病院での看護実務体験を通じ、看護への理解と関心を深め、看護職への志望を啓発することを目的とし、高校生1日ナース体験を開催しました。

目次

- ①レーザー外来のご案内（形成外科）
- ②乳がんのサポート体制（乳腺外科）
- ③産婦人科の紹介♪
- ④膵石治療のご案内（消化器内科）
- ⑤Topics



発行：浜松医療センター
〒432-8580 浜松市中区富塚町328
TEL 053 (453) 7111
URL <http://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください

今月は、形成外科・乳腺外科・産婦人科・消化器内科の特徴や診療内容をご案内します。



レーザー外来のご案内

形成外科ではレーザー外来を行っています。整容面でお困りの事ご相談ください。当院のレーザーの特徴を紹介します。

①IPL(アイツープール)

顔面のしみ、そばかす、にきび痕などに効果的で、肌の若返り治療(フェイシャルリジュビネーション)を目的として使用する場合に多く用います。

②Qスイッチアレキサンドライト

青あざ(異所性蒙古斑、太田母斑、外傷性刺青など)に有効なレーザーで、保険診療可能なものもあります。ほくろや比較的深いしみなど、黒あざや茶あざの除去も可能ですが自費診療となります。

③CO2レーザー

炭酸ガスレーザーにより小さなほくろなどはメスを使わず除去できます。傷跡等を目立たなくすることも可能です。

【受診方法】

通常の初診外来(月火水金の午前)に受診、相談していただき、実際のレーザー治療を火曜の午後に行います。外来の受診方法は当院ホームページを参照いただくか、代表電話(053-453-7111)へお問い合わせください。

乳がんのサポート体制



乳がんは女性になりやすいがんの第1位です。若い人の病気と思われがちですが、30歳代後半から80歳過ぎまでどの年代にも多く見られます。

自分も乳がんになるかもしれない



と考え、普段から乳がん検診

(2年に1回のマンモグラフィ)や自己検診を行うことが大切です。

乳がんの治療には手術、放射線治療、薬物治療(ホルモン剤、抗がん剤、分子標的剤)があり、乳がんの性質(タイプやステージ)によって最適な治療の組みあわせが異なります。当院は医師(乳腺外科、形成外科、放射線治療科、緩和医療科、口腔外科など)、看護師(乳がん看護認定、化学療法看護認定、放射線療法看護認定、緩和ケア認定など)、薬剤師、リハビリテーション技術科などが連携し、それぞれの患者さんに合った質の高い治療、サポートができるような体制を作っています。



(当院の乳腺外科チーム)

産婦人科の紹介♪



現在、産婦人科は医師8人(男性3人 女性5人=うち1人は育休中)体制で診療を行っています。お産をする場所は1号館5階の周産期センター(主にリスクが高いと判断されたお産を取り扱います)と2号館5階のメディカルバースセンター(比較的风险が少ないと判断され、健診も分娩も主に助産師が取り扱います)の2か所です。



(バースセンターの個室)



(バースセンターのLDR)

平成29年度には約1300人の赤ちゃんが当院で誕生していて、県内で2番目にお産の多い病院です。周産期センターには赤ちゃんのための入院施設=NICUも併設されています。帝王切開によるお産は全体の2割ほどで、これは同じくらいの分娩数の病院と比べるとかなり少なくなっています。

平成29年度には、当院の活動および実績が評価され、厚生労働大臣から産科医療功労者をいただきました。



婦人科は年間220件ほどの手術を行っていて、悪性疾患(いわゆる癌)は約25件、手術までの待ち時間は約1か月弱となっています。現在、腹腔鏡による手術は行っていません。これからも安全、安心な医療を提供できるように努力してまいります。